

みんなで育てる

播磨町放課後子ども教室「のびのび」

▼問合せ 生涯学習グループ ☎079(435)0565

放課後子ども教室とは、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の人たちが指導者やボランティアとして参画しながら、子どもたちと一緒に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行う取り組みで、現在、全国の各市町村でこの取り組みが広がっており、それぞれの実情に応じて実施されています。播磨町でも平成19年度より教室を開設し、「のびのび」という播磨町独自の愛称も、ずいぶん浸透してきました。

今日はなにをするのかなあ



▲「こんにちは!」「今日は何するの〜?」ランドセルを持った子どもたちが、次々に集まってきます。今日も「のびのび」スタートです。

播磨町では、町内4小学校の3年生を対象に6月から1月の間、月1回のペースで活動を展開しています。今年度の活動内容(予定)は以下の通りです。

回	月	内容
①	6月	工作(エコバッグ作り)
②	7月	科学あそび
③	8月	アイスクリーム作り
④	9月	バルーンアート
⑤	10月	風船バレーボール
⑥	11月	やきいも
⑦	12月	ティラミス作り
⑧	1月	お別れコンサート



指導してくださるのは町内にお住まいの地域の方々です。子どもたちは、地域みんなで見守り、育てていくことが大切です。いろいろな体験活動や地域の方々とのふれあいを通じて、子どもたちの自主性や創造力、社会性が育まれていきます。指導にあたる地域の方々も笑顔いっぱい指導してくださっています。



家庭教育コラム14
子育てのための
かがやく未来のために
「家庭でできること」

播磨町家庭教育推進委員会

「子どもの成長を支えよう」
 自分でできるようになったね!
 ●自分で考えて行動できる子どもにも!

できることまで親が先回りしてやってしまったり、何から何まで親が指示をしたりしていると、自分から考えて行動する力がつきにくくなります。

自分で考えて行動できるような言葉かけをしましょう。そして、少し時間がかかっても、自分で行動するのを待ってあげましょう。

(たとえば・・・)
 ・「次は、何を
 するんだっけ?」
 ・「〇〇は、ど
 こに片づける?」
 ・「時計の針が
 〇までにやろう
 ね」

きゃんぱすだより

おいしいトマトで~きた!

播磨西幼稚園



年少児が、お家の人と一緒にトマトを植えました。6月の親子参観では、自分のジョウロを作って毎日水やりをしました。「おおきくな~れ!」「お花が咲いてきたよ!」「トマトのあかちゃんが出来たよ!」「うれいね!」「おめでとう!」と、水やりをしながら、気付いたことを先生やお友達に知らせ合う子どもたち。お迎えに来たお母さんも「〇〇



ちゃんのトマトも赤くなってきたね」と、一緒に喜んで下さる姿が見られました。大きく真っ赤になったトマトをお家の人と収穫する時は、恐る恐る…。ハサミで上手に収穫できた時は、満面の笑顔でした。「ミートソースにしたよ!」「サラダにしたよ!」と、晩ごはんの一品になったことを伝えていました。自分で植えて、自分で育てたトマトは、特別おいしかったことでしょうね!好き嫌いなく食べて、おおきくなってね!

ちゃんのお母さんも「〇〇ちゃんのトマトも赤くなってきたね」と、一緒に喜んで下さる姿が見られました。大きく真っ赤になったトマトをお家の人と収穫する時は、恐る恐る…。ハサミで上手に収穫できた時は、満面の笑顔でした。「ミートソースにしたよ!」「サラダにしたよ!」と、晩ごはんの一品になったことを伝えていました。自分で植えて、自分で育てたトマトは、特別おいしかったことでしょうね!好き嫌いなく食べて、おおきくなってね!

浄水場見学

蓮池小学校4年生

蓮池小学校では、4年生で社会科学習の一環として播磨町第3浄水場へ見学に行きました。そこでは、普段見ることができない水をきれいにする機械を見たり、浄水のシステムをくわしく聞いたりすることができました。



はじめに、施設の見学をさせてもらいました。水がきれいになっていく様子や自分たちの身の回りにはないような大きなポンプなどを見せてもらうことができました。はじめて見る機械の仕組みに子どもたちはとても感動していました。

次に、浄水のシステムについての話を聞かせてもらいました。子どもたちは一生懸命にメモを取りながら、学校や家庭にきれいな水が届く仕組みを学び、自分たちのくらしがたくさんの人の支えのもとに成り立っているのだということを実感したようでした。

このように、子どもたちは多くのことを感じ、多くの人の努力を学ぶことができました。これからここで学んだことを活かし、たくさんの人のために積極的に活動することができる子どもたちになってほしいと思います。



めんそーれ はいさい また、やーさい!
(ようこそ こんにちは いつか会える楽しみを)

播磨南中学校



5月25日、沖縄はもう夏! 私たちの修学旅行は南部での平和学習から始まりました。「ひめゆり平和祈念資料館」で証言ビデオを見ながら説明を聞き、沖縄での惨劇から平和と命の大切さを学びました。今まで、人ごとのように感じていた新聞やニュースの報道を非常に身近に感じることができました。熱心に見聞きする姿やインタビューがNHKの全国及び沖縄の特集番組に取り上げられたほどです。その後、恩納村の琉球村で地元子ども会のエイサーや舞踊など沖縄の文化にふれることもできました。

2日目は、早朝から古宇利島、美ら海水族館、ミッションビーチでのシュノーケリングなど、美しい自然を堪能しました。最終日は、首里城見学と国際通り散策のあと、沖縄郷土料理に舌鼓を打ちました。

悲しい歴史をもつ沖縄への修学旅行で、島人(しまんちゅう)のあたたかい人柄と美しい自然にふれ、改めて平和の尊さに感謝し、美しい自然や文化を継承していかなければならないと強く感じました。

第30回潮風祭 播磨南高等学校生徒会 文化委員長

第30回潮風祭が6月12日、13日に開催されました。今年のテーマは、「一人一人が作り上げる虹(なないろ)のキャンパス」でした。このテーマのもと、約2か月前から準備が始まりました。準備を進めていく中で大変だったことは、各クラスの文化委員や文化部の代表者に向けて、様々な説明会を開いたことです。上手く伝えられなかったために、スムーズに作業が進まず、多くの方に迷惑をかけてしまったこともありました。

また、オープニングセレモニーやエンディングセレモニーの準備がなかなか完成せず、当日を迎えられるのが不安を抱えていましたが、オープニングから生徒のみんなが盛り上がりしてくれたおかげで、楽しい潮風祭となりました。

1日目は体育館のステージで各クラスや文化部による劇やダンス、演奏が行われました。2日目は一般公開され、模擬店、教室展示、アトラクションなど、様々なジャンルの発表が行われました。東はりま特別支援学校の生徒の皆さんや、ライマ市の高校生との交流もでき、とても充実した潮風祭になりました。ご来場くださった皆様、本当にありがとうございました。今後もより充実した生徒会活動にしていきたいので、よろしくお願いします。

